

NPO 法人ウェルフェアテニスクラブ と 群馬中央医療生活協同組合 の協働について



協働事例の概要

群馬県は近県の中でも車いすテニスをする子どもたちが多く、NPO 法人ウェルフェアテニスクラブ理事長の山口怜生が指導している川合雄大選手(前橋商業高校1年)は中学生の時に、車いすテニスジュニア日本ランキング 1 位となった。しかし県内の練習会場は、障がい者用のトイレがない、テニスコートまで階段がある、砂利道で移動が困難など、障がいを持つ選手にとって厳しい環境である。また、競技用の車いすや遠征費も自費。群馬中央医療生活協同組合では、理学療法士が専門的アドバイスをを行い、トレーニングのための場所を提供したり、機関紙に記事を掲載して応援している。



NPO 法人ウェルフェアテニスクラブ

HP <http://welfaretennisclub.web.fc2.com/>

理事長 山口 怜生

住所 〒379-2153 前橋市上大島町 540 番地 8

主たる活動 障がいのある方や健常者の方が一緒にテニスを楽しむ団体です。



群馬中央医療生活協同組合

<https://www.kyouritsu.org/iryouseikyonoannai.htm>

理事長 瀧口 道生

住所 〒371-0811 前橋市朝倉町 830-1

主たる事業 暮らしを守り医療・介護サービスを提供する生活協同組合です。

協働における役割

障がいのある人の運動をする機会の提供。車いすテニスの普及から強化。トレーニングをすることで、筋肉やバランスの向上や、可動域をひろげるなどで、怪我をしないようになる。



協働したことの相乗効果

医療生協の組合員は3万5千人いる。組合をあげて応援している。世界を狙う選手(川合選手はWTCジュニアで日本代表入り)の支援は社会的モデルケース。上毛新聞や、NHKテレビで、大きく報道された。

深谷市テニス協会より2020年12月開催の「Newミックステニス体験会」への協力を依頼されるなど、活動がひろがってきている。

協働における役割

理学療法士が、ボランティアで専門的アドバイス(障害に応じてのトレーニング指導)。選手のトレーニングメニューを作り、コートにも出かける。医療生協の1室をトレーニング室として、開放。雨天でも室内でボール打ちが出来る。

理事長瀧口先生の担当分野は一般内科とリハビリテーション科。

毎月1回発行の機関紙「暮らしと健康」に「車いすテニス川合選手 病院をあげて応援」の記事を掲載し、多くの人に知ってもらえた。